

2022年3月30日

## 原料費調整制度に基づく2022年5月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年5月検針分の単位料金を、2022年4月検針分と比べ、1 $\text{m}^3$  (45MJ) につき1.29円 (消費税込) 上方に調整いたします。

今回の調整は、2021年12月～2022年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34 $\text{m}^3$ のガスをお使いになる標準家庭で2022年4月検針分と比較して、43円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22 $\text{m}^3$	料金表B 23～223 $\text{m}^3$	料金表C 224 $\text{m}^3$ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ )	134.81	127.44	120.07
(参考) 4月 調整単位料金	133.52	126.15	118.78

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34 $\text{m}^3$ (45MJ/ $\text{m}^3$ )	2022年 4月	2022年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,213	5,256	43

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2021年11月～2022年1月の平均 (4月検針分)	2021年12月～2022年2月の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	40,390	41,930	1,540
LNG	83,760	87,420	3,660
LPG	92,270	90,100	▲ 2,170
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	13,000	14,500	1,500

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} & = & \frac{87,420}{90,100} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} & = & \frac{90,100}{90,100} \times 0.0371 \\
 & & = & \frac{41,929.89}{41,930} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & & = & 41,930 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 & 41,930 \text{円/t} - 27,350 \text{円/t} & = & 14,580 \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & & = & 14,500 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{単位料金調整額} = \frac{14,500 \text{円}}{100 \text{円} \times 0.0858^{*1}} \\
 & = 12.44 \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2022年 4月	2022年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,213	5,256	43

##### ・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned}
 & \text{本体料金(税込)} & = & \text{基本料金(924.00円)} \\
 & + \text{調整単位料金(115.00円)} & + & \frac{12.44 \text{円}}{100 \text{円}} \times 34 \text{m}^3 \\
 & \text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow & & \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。